

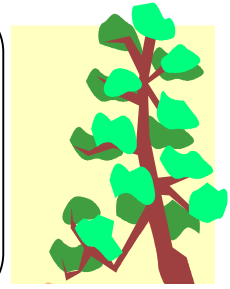


学校だより

令和4年12月8日

わかまつ

小松市立稚松小学校 校長 肩 恭子



【生け花クラブ】

12月。2学期の締めくくりの月であると同時に、1年の締めくくりの月でもあります。始まりの時に立てた目標や熱い決意も、日々の中でだんだん薄れてしまうこともあります。最後にもう一度思い出し、頑張れた自分を認めてあげられる月にしたいと考えています。

**気持ちをあわせて、
思い・考えをつなぎ、
成長のめ(目・芽)を伸ばせた2学期!**

毎月、生活の取組の重点を「合言葉」として全校児童に示しています。

9月「あわせる」10月「つなぐ」11月「め」12月「つなぐ」

9月は、主に運動会の成功を目指し、気持ちを合わせて練習を頑張りました。
10月は、授業の中でお互いの考えを聴き合いつなげて学びを深めていきました。
11月は、自分の中にある、いろいろな芽に目を向け、自分の成長につなげました。
12月は、2学期の全ての学びをつなぎ、自分の成長を確かなものにします。



2階廊下では、可愛いサンタさんとトナカイさんが、廊下の安全を見守ってくれています。



「廊下は走らない！」という、注意喚起の言葉も必要ですが、「安全に気をつけて歩こうね」という優しいメッセージも素敵ですね。

今年の冬は・・・

いよいよ、「もう、タイヤ替えた？」の会話があちらこちらで聞かれるようになってきました。今年の冬は、ラニーニャ現象などの影響で、日本付近は冬型の気圧配置が強く、日本海側は雪が多くなる見込みだとか。今年はしっかりとした雪の備えが必要なのかもしれません。



登校時、防寒のため耳当てをしたり、フードをかぶったりして登校する子も増えてきました。安全な歩行のためには、耳からの情報も大切になってきますが、耳を覆うことによって情報量が少なくなることもあります。より安全に気をつけるように声かけをしてあげてください。また、ついつい、ポケットに手を入れて歩いてしまっている子も見られます。転倒など、もしもの時にとっさの対応が遅れてしまい、大げがにつながることもあります。学校でも常に声かけをしています。ご家庭での声かけもお願いします。

コロナ感染症対策

いつまで続くんだろうと、うんざりしておいでる方も多いと思いますが、毎日のお子さんの丁寧な健康観察や検温、マスク着用のご協力のおかげで、現在大きな感染の広がりは見られていません。そのため、コロナ感染防止のため制限されていた歌うことや調理実習など少しずつ以前に近い形で学習ができるようになってきましたし、予定通り行事を行うこともできました。ご協力、ありがとうございます。

コロナ感染症対策のための換気についてですが、空調使用時には機械による定期的な熱交換式の換気（1時間に4回程度）を行っていますので、常時ドアや窓を開けたままの換気の必要はなく、適切な室温を保った状態にしています。また、各教室には、室温だけでなく、湿度、二酸化炭素濃度等図る装置も設置されており、数値を確認しながら適宜換気をし、安心・安全な環境に配慮しています。

石川県の、感染者数を見るとまだまだ気が抜けない状態です。寒さのため、手洗い、換気が疎かになりがちですが、学びを止めないためにも引き続き感染防止に努めてまいります。ご協力よろしくをお願いします。

お薬についてお願い

学校での薬の使用は、保護者からの依頼に基づいて行っています。薬を取り違えたり誤った使用方法をしたりしないようにするため、下記の内容をご確認の上、ご理解をいただきご協力くださいますようお願いいたします。

急性疾患（風邪、腹痛、眼科疾患等）の場合

○回復期で薬を持参する場合

- ・服用（点眼）の件を必ず連絡帳でお知らせください。服用（点眼）したことを、担任から連絡帳でお知らせします。
- ・飲み薬は当日分のみとし、薬の袋に「名前・日時・服用時間（食前 or 食中 or 食後）」を必ず記入してください。

*可能であれば、学校での服用（点眼）を避けるため朝夕2回の服薬（点眼）にできないか、主治医とのご相談をお願いします。

その他の疾患の場合（喘息、頭痛、生理痛、腹痛等）

○学校に常備薬として持参する場合

- ・持参することを必ずお知らせください。
- ・担任から、保管場所や服用方法について確認させてもらうこともあります。